

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	音楽テクノロジー科(昼間I部)	夜・通信	1440時間	240時間	
	商業音楽科(昼間I部)	夜・通信	660時間	160時間	
	商業音楽科(昼間II部)	夜・通信	660時間	160時間	
	プロミュージシャン科(昼間I部)	夜・通信	630時間	160時間	
	プロミュージシャン科(昼間II部)	夜・通信	630時間	160時間	
	ダンス&アクターズ科(昼間I部)	夜・通信	750時間	160時間	
	ダンス&アクターズ科(昼間II部)	夜・通信	750時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 名鉄観光(株)代表取締役	2020.4.1 ~ 2023.3.31	グローバル対応
非常勤	(株)サ・シンフォニーホール 代表取締役	2020.4.1 ~ 2023.3.31	経営分析
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年 2 回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて 4 月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>定期試験（実技、筆記、レポート等）の成績により学修成果の評価を行ない単位認定している。評価は「S～F」で行ない、C 以上を合格とします。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>評価分布の判断は「G P A」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数 100～90 点=S 評価 (GP=4.0) 点数 89～80 点=A 評価 (GP=3.0) 点数 79～70 点=B 評価 (GP=2.0) 点数 69～60 点=C 評価 (GP=1.0) 点数 59 点以下=F 評価 (GP=0.0)</p> <p>$G P A = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得た} G P \text{の合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
収支計算書又は損益計算書	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
財産目録	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
事業報告書	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
監事による監査報告（書）	https://www.nsm.ac.jp/school/public_info

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	音楽テクノロジー科 (昼間I部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間	180 単位時間	3000 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		63人	0人	7人	56人	63人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数100～90点=S評価（GP=4.0） 点数89～80点=A評価（GP=3.0） 点数79～70点=B評価（GP=2.0） 点数69～60点=C評価（GP=1.0） 点数59点以下=F評価（GP=0.0）</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。
学修支援等
(概要) 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	6人 (43%)	8人 (57%)
(主な就職、業界等) レコーディングスタジオ/映像制作会社/音楽プロダクション等			
(就職指導内容) 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーションスキルアップ検定、サウンドレコーディング技術認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	1人	1.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制度 三者面談 SSC(スチューデントサービスセンター) 個人面談 学費相談(分納・延納納入) 補習 課題提出		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	商業音楽科(昼間I部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		70人	0人	7人	56人	63人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。 学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。 点数100～90点=S評価 (GP=4.0) 点数89～80点=A評価 (GP=3.0) 点数79～70点=B評価 (GP=2.0) 点数69～60点=C評価 (GP=1.0) 点数59点以下=F評価 (GP=0.0) GPA = (当該科目の単位数×各授業で得たGPの合計) / (当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計)
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。
学修支援等
(概要) 担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54人 (100%)	0人 (0%)	54人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 音響会社/照明会社/舞台制作会社/映像制作会社/イベント制作会社/芸能プロダクション等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、舞台機構調整技能士、足場組立等の業務に係る特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	2人	2.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	商業音楽科(昼間 II 部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		138人	0人	7人	56人	63人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数 100～90 点=S 評価 (GP=4.0) 点数 89～80 点=A 評価 (GP=3.0) 点数 79～70 点=B 評価 (GP=2.0) 点数 69～60 点=C 評価 (GP=1.0) 点数 59 点以下=F 評価 (GP=0.0)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	0人 (%)	38人 (90%)	4人 (10%)
（主な就職、業界等） 音響会社/照明会社/舞台制作会社/映像制作会社/イベント制作会社/芸能プロダクション等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定、コミュニケーションスキルアップ検定、舞台機構調整技能士、足場組立等の業務に係る特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
141人	5人	3.5%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	プロミュージシャン科 (昼間I部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		74人	0人	7人	56人	63人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数100～90点=S評価 (GP=4.0) 点数89～80点=A評価 (GP=3.0) 点数79～70点=B評価 (GP=2.0) 点数69～60点=C評価 (GP=1.0) 点数59点以下=F評価 (GP=0.0)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校では学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	3人 (10%)	26人 (90%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション/楽器販売店/音楽教室/プロミュージシャン等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	4人	6.7%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	プロミュージシャン科 (昼間 II 部)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1800 単位時間	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年			120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位時間／単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	23人	0人	7人	56人	63人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数100～90点=S評価 (GP=4.0) 点数89～80点=A評価 (GP=3.0) 点数79～70点=B評価 (GP=2.0) 点数69～60点=C評価 (GP=1.0) 点数59点以下=F評価 (GP=0.0)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校では学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職/デビュー者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	1人 (4%)	25人 (96%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション/楽器販売店/音楽教室/プロミュージシャン等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	5人	8.5%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	ダンス&アクターズ科 (昼間I部)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1800 単位時間	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年			120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	55人	0人	7人	56人	63人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数100～90点=S評価 (GP=4.0) 点数89～80点=A評価 (GP=3.0) 点数79～70点=B評価 (GP=2.0) 点数69～60点=C評価 (GP=1.0) 点数59点以下=F評価 (GP=0.0)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校では学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	41人 (100%)
（主な就職、業界等） 芸能プロダクション/テーマパーク/ダンススクール等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	2人	3.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ダンス&アクターズ科 (昼間 II 部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1800 単位時間	120 単位時間	2080 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		65人	0人	7人	56人	63人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業計画は、養成目的と到達目標を鑑み毎年見直しを図っています。見直しにあたっての基準として社会ニーズの変化や年2回開催される教育課程編成委員会の意見等を参考にしています。</p> <p>学生には授業計画を学生便覧にまとめて4月上旬に説明をしたうえ、ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>評価分布の判断は「GPA」制度を活用し、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>点数100～90点=S評価 (GP=4.0) 点数89～80点=A評価 (GP=3.0) 点数79～70点=B評価 (GP=2.0) 点数69～60点=C評価 (GP=1.0) 点数59点以下=F評価 (GP=0.0)</p> <p>$GPA = (\text{当該科目の単位数} \times \text{各授業で得たGPの合計}) / (\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計})$</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定をしている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任などの教職員が教育・就職・学費・学校生活のあらゆる面において支援を実施しています。また、担任が学生との定期的に個別面談を実施し、学修状況や要支援事項の確認を行ない、必要に応じて保護者とも連携しています。本校では学生サービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (%)	3人 (16%)	16人 (84%)
（主な就職、業界等） 芸能プロダクション/テーマパーク/ダンススクール等			
（就職指導内容） 1年後期に「就職ガイダンス」授業を配置。学校主催の合同企業説明会を開催。 1年春休みから随時インターンシップ。担任と就職担当の個別面談、履歴書添削、面接練習等。			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	2人	3.3%
（中途退学の主な理由） 経済的理由 進路変更 病気治療 学生生活不適合等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制度 三者面談 SSC（スチューデントサービスセンター） 個人面談 学費相談（分納・延納納入） 補習 課題提出		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部)	100,000 円	740,000 円	718,300 円	
商業音楽科(昼間Ⅰ部)	100,000 円	740,000 円	718,300 円	
商業音楽科(昼間Ⅱ部)	100,000 円	740,000 円	718,300 円	
プロミュージシャン科(昼間Ⅰ部)	100,000 円	740,000 円	718,300 円	
プロミュージシャン科(昼間Ⅱ部)	100,000 円	740,000 円	718,300 円	
ダンス&アクターズ科(昼間Ⅰ部)	100,000 円	640,000 円	718,300 円	
ダンス&アクターズ科(昼間Ⅱ部)	100,000 円	640,000 円	718,300 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nsm.ac.jp/school/public_info		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生代表、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について ・社会貢献について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 アズオン	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	卒業生代表
プロミュージシャン科保護者代表	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	保護者代表
株式会社 ハートランドスタジオ	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	企業等委員
愛知県立三好高等学校	令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 3 年 3 月 31 日	高等学校

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nsm.ac.jp/school/public_info
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nsm.ac.jp
--